

香川大学教育学部へ

体験入学 してきました

2月3日、教育創造コースの1年生が、香川大学教育学部を訪問し、毛利猛教授、小方朋子教授、豊島修准教授からご講義等をいただきました。また、教育学部生（教育創造コース1期生）の方の模擬授業を受け、教育学部生（1～3期生）との交流活動にも参加させていただきました。



講義「教育の二つの顔」(毛利 猛 教授)

○教師とは子どもの代理人であり、社会の代理人でもある。

【子ども — 教師 — 社会】の関係

○学校とは、親密空間であると同時に、公共空間でもある。

【家庭 — 学校 — 社会】の関係

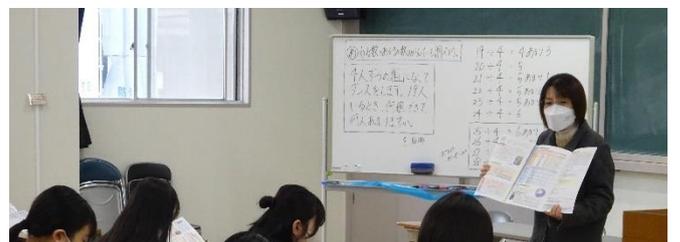
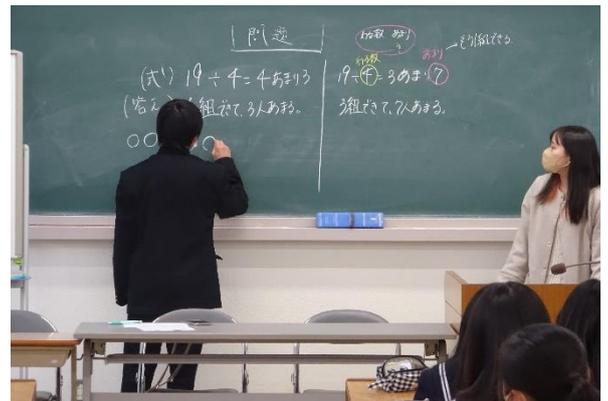
●この二重性(葛藤)を拭い去ることは原理的に不可能である。教師は、割り切れなさに耐える力が必要。しかし、この難しさの中に、教師の仕事の豊かさややり甲斐もある。

教育学部生（教育創造コース1期生）による模擬授業

○附属坂出小学校で行った教育実習での授業（小学校3年生の算数の授業）の再現

➡コース生は小学校3年生になったつもりで「授業」に参加

●「時間をかけて指導案を作成しても、公開授業では想定どおりに児童が動くとは限らず、臨機応変に対応する力も必要だと実感した」



教育学部紹介（小方朋子教授）

学習指導案や教員免許について



教育学部生（教育創造コース1～3期生）
との交流会

教育学部生（教育創造コース1期生）の
案内で施設見学へ！



← 香川大学博物館（和田邦坊展開催中）
↓ 香川大学図書館 ↓ Global Cafe



講義「どうする 君たち」(豊島 修 准教授)

- 決断を迫られ続ける現代、明確な答えが分からない時代。
- 答えをすぐに知りたがるのはダメ！
- 時間・手間がかかることをする。
- 自分の頭で考えたものでないと、自分のものにならない。
- 自分の軸を持つ。自分の守備範囲を持ち、クオリティを上げていく。
- 新しい価値観で、新しい時代や流行を自分で作る気概を持って！



Disneyland will never be completed. It will continue to grow as long as there is imagination left the world.

Walt Disney

